

## 異業種／多職種連携教育（IPE）としての初年次教育

——昭和大学富士吉田キャンパス見学調査<sup>1</sup>——

創生ジャーナル Human and Society 編集委員会

### はじめに

新潟大学キャリア創生研究会では、2018年度に「異業種／多職種連携教育（IPE）としての初年次教育」をテーマに、研究会を実施してきた。新潟大学創生学部は、担当する教員の専門も多岐に渡るとともに、学生も多様な専門領域を学んで行くため、「異業種／多職種連携」は、教育・研究を行う上で重要なキーワードの1つである。実際、学部のディプロマポリシーでも、人材育成目標として「分野の異なる他者と協働」という点が明記されている（新潟大学、2017）。しかし、創生学部はまだ創設2年目の新しい学部であり、学生の卒業後の「異業種／多職種連携」を見据えた教育を行うという点については、十分な経験が蓄積されていないのが現状である。そこで、研究会活動の一環として、他大学で多職種連携教育が実践されている現場を見学し、そこでの取り組みの現状や工夫されている点などについて調査を実施することとなった。

今回、調査に伺ったのは、昭和大学富士吉田キャンパスであった。昭和大学は、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部からなる医系総合大学であり、大学案内（昭和大学、2018）などにおいても、学部同士のつながりが魅力の1つとして紹介されているように、学部間の連携にも特長を持つ大学である。木内他（2014）などでも紹介されているように、体系的・段階的なチーム医療教育が進められており、医療という領域の中で「異業種／多職種連携教育（IPE）」に向けた教育が行われている。さらに、初年次教育に関しては、富士吉田キャンパスで4学部の学生全員が全寮制の中で共に学び、生活する仕組みが整えられており、1965年から続くその歴史を見

Table1. 昭和大学 調査概要

日時	2018年9月13日 10:00~16:20
応対者	昭和大学富士吉田教育部 倉田知光 教授
訪問者	新潟大学創生学部 中村 藤巻 渡邊 田中 堀籠 並川

ても、多くの経験が蓄積されていることが推察される。

### 見学調査の概要

訪問調査は、2018年9月13日に実施した（Table 1）。当日は、対応いただいた倉田知光教授より、最初に昭和大学富士吉田キャンパスでの教育の概要についてご紹介いただくとともに、様々な質問にお答えいただいた。また、その後、食堂や寮を含めたキャンパス内の施設見学を行い、その中でも多く事柄についてご教授いただいた。

ここでは、伺った話等の中から、特に創生学部での異業種／多職種連携教育としての初年次教育につながると思われる特徴について、簡単な整理を行う。まず、重要な特徴の一つと考えられるのが、キャンパスそのものが他職種連携を意識した設計となっていることである。富士吉田キャンパスでは、学部ごとに校舎が分かれていないことや、寮も4人部屋で2学部以上の学生が同部屋になるように配置していること、グループ学習のためのスペースが多数確保されていることなど、施設面での配慮や工夫が多く、多くの箇所で見られることが今回の調査の中でも感じられた。

<sup>1</sup> 昭和大学富士吉田教育部 教授 倉田知光先生には、今回の調査において大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

また、学生・受験生にもこういった大学の教育上の広く特徴が伝わっており、昭和大学がチーム医療に関する先進的な教育を展開しているということを知った上で志望してくるケースも多いという。実際、学生がさまざまな人と交流できるように、必然的にグループを構築しなければならないように、工夫がされており、学生は授業時間外でも週 2～3 回はグループのメンバーと会う機会があるなど、豊富な経験を積む機会が用意されている。そのため、学生が臨床研修に出る際などには、外部の研修先からコミュニケーション能力の高さを評価されることも多いとのことで、現場にも様々な形で良い影響が生まれていることがうかがえた。

教員も、こういった方針・環境に対応するため、教育・研究において普段から互いに連携できる形を整えており、学部間連携での実習なども行われている。学生への教育内容や、課題についても事前にワークショップを開くなどして、検討を行ったり、授業等では富士吉田キャンパスに来て泊まり込みで指導するなど、熱心に教育に関わっている様子が見えがえた。

## おわりに

本稿では、昭和大学富士吉田キャンパスで行った見学調査の概要を示した。しかし、今回の調査には専門分野も異なる教員が複数参加しており、それぞれの視点で重要な示唆を得ることができたと考えられる。

そこで、本稿以降の田中、堀籠、渡邊の3論文は、今回の見学調査を踏まえ、それぞれの著者が自身の専門分野や関心から、考察したことをまとめている。それら一連の考察を通して、中長期的な視点で異業種／多職種連携教育（IPE）としての初年次教育について、さらなる検討を進めていくことが重要であると考えられる。

## 引用文献

- 新潟大学 (2017). 三つのポリシー（創生学部） 新潟大学 Retrieved from <https://www.niigata-u.ac.jp/academics/faculty/creation/threepolicies-f/> (2018年3月31日)
- 木内 祐二・倉田 なおみ・高木 康・高宮 有介・馬谷原 光織・片岡 竜太・倉田 知光 (2014). II-4 昭和大学の体系的、段階的なチーム医療教育カリキュラム 医学教育, 45, 163-171.
- 昭和大学 (2018). 昭和大学 2019 大学案内 昭和大学